

地域を知ろう(3)

～馬橋庚申塚由来記～

高円寺南三丁目の東保健所の西側に馬橋庚申堂が祀られています。現在の所在地は高円寺南三丁目二十七番地になっていますが、以前は武州東多摩郡（ごおり）杉並村大字馬橋といわれていました。

昭和四十八年までは中通りに面して祀られていましたが、交通量が増えおまいりするの危険なため、地域の有志の人達の浄財で昭和四十八年六月建立三百年を記念して反対側の東京電力阿佐ヶ谷変電所の一角に移され御堂が建設されました。

向かって左側に延宝元年（一六七三年）板碑型三猿庚申塔、右側に享保元年（一七一六年）駒型庚申塔が建立されています。

江戸時代の庶民が凶作や災疫を個人でさけるおとが出来なかつたので村中の人々が団結して災難

村の中に入ってこないよう庚申塔を建立しました。以後村民たちが幸福な生活を求め豊作や無事息災病気全快を祈ってききました。

庚申様は江戸時代の庶民の災難除けの守り神様だったようで現在でも信仰厚い人達によっていつも新しいお花がたえることなく供えられ、末永く馬橋の地に平和と幸福の恵みがありますようにと祈念されています。

青面金剛像（しょうめんこんごうぞう）

（願いごとを唱え御体をさすると霊験あらたかといわれている。）

